

大洲市民文化会館 管理運営計画検討資料

大洲市
株式会社シアターワークショップ

「管理運営」とは？

⇒ 主に開館後の施設を **どのように活用していくか** ということ

管理運営の6つの柱



① 事業

どのような事業(イベントや取り組み)を行うのか？

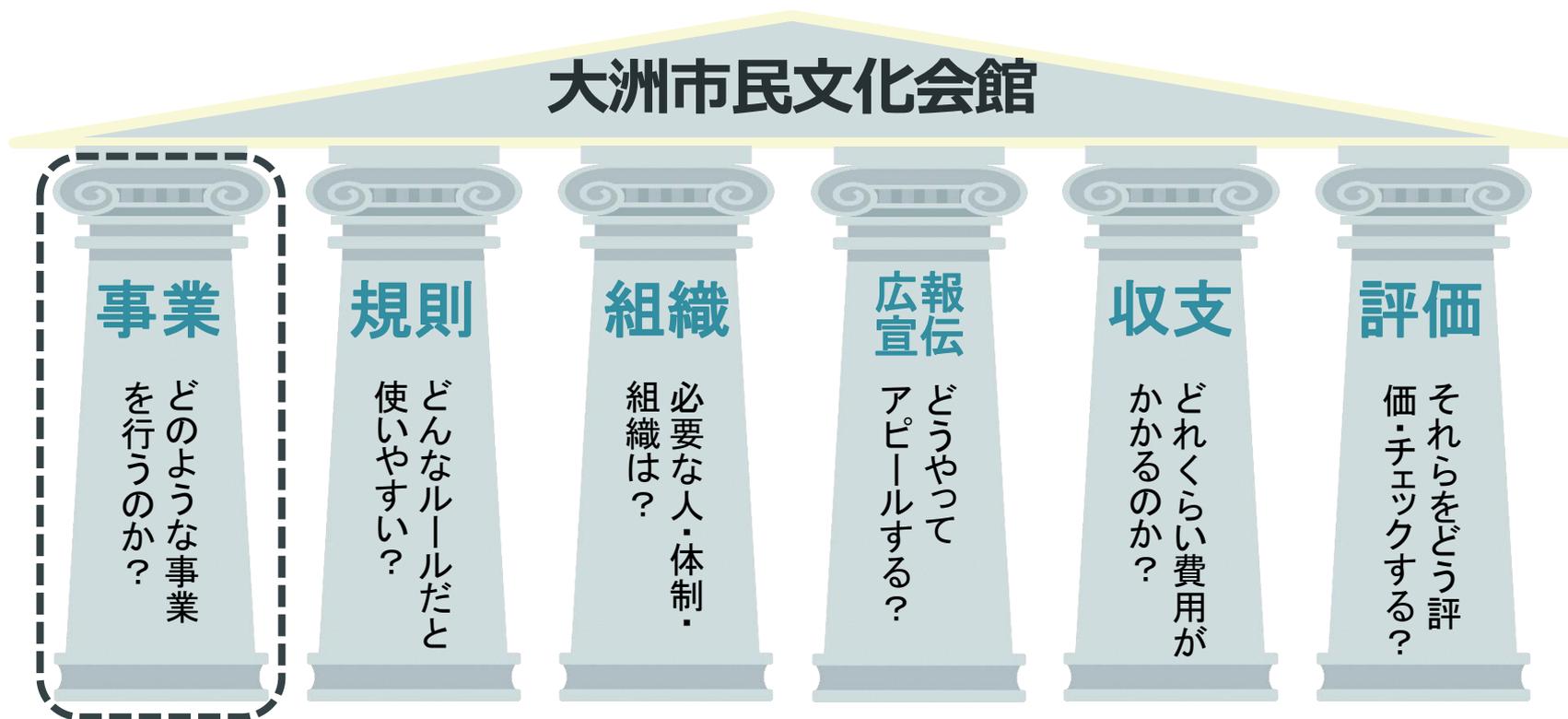


② その他の要素(規則、組織・・・)

事業を実施するために必要な仕組みは？

今回の検討範囲

管理運営の6つの柱



まずは「**事業**」において**大事にすべきポイント**を考えます

「事業」の種類

自主事業

施設自身が企画・実施する公演やイベントなどのこと。

- ホールで開催されるコンサートや演劇などの舞台、多目的室で行う講座やワークショップ、屋外や街なかを使ったイベントなど、場所や内容には様々なパターンが考えられる
- 施設が開館する前から、「プレイイベント」として自主事業を始める施設も多い

かしかん

貸館事業

施設を貸し出す取り組みのこと。

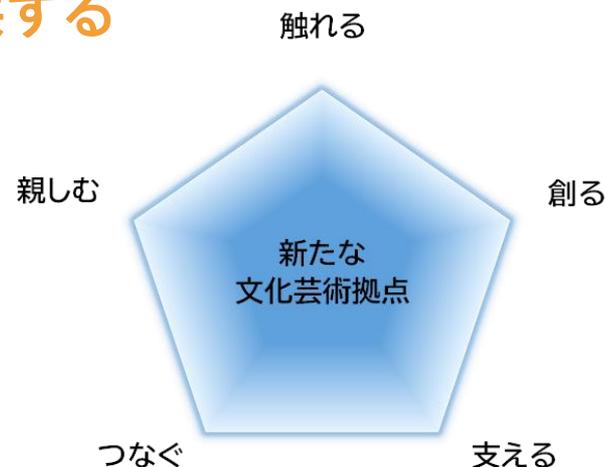
- 施設側の役割は、場所や備品を提供すること
- 使い方は借りた人が自由に決められる
- 施設を貸し出すためには、適切な規則を整備する必要がある

大洲市民文化会館の基本目標（基本構想より）

施設整備の目的

『文化芸術と市民交流』拠点施設の整備

- 基本目標① 文化芸術に触れる機会を充実させる
- 基本目標② 幅広い創造活動の拠点となる
- 基本目標③ 地域の文化・芸術を未来につなぐ
- 基本目標④ 親しみを持てる憩いの場を提供する
- 基本目標⑤ 市民の安心・安全を支える



自主事業について

これまでの検討の振り返り（市民ワークショップより）

新しい文化施設でやってみたいことを考えよう！

春	夏	秋	冬	通年
<p>【お祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜祭り、茶会 お花見 <p>【催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛媛県吟詠大会大洲開催(600名規模) 春のコンサート(大洲ふじかけコーラス) 入学式・卒業式 思い出としてホールや掲示板を利用 ピアノの発表会 屋外のワークショップ 子どもたちと隠れ家・木や竹の楽器づくり 学生向けの楽器クリニック、楽器指導 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽定期演奏会 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵の展示 季節感を感じる催し 	<p>【お祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏祭り 屋台、夜市 <p>【催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々なジャンルが楽しめる催し 注目を集める催し 世代間を超えて、子どもから高齢者までが楽しめるイベント 大洲吟詠会発表会(200名程度・青少年参加など) タペのクラシック音楽 カフェ内でのフラダンス プロの演奏鑑賞 楽しい科学実験(大洲盆地の霧、肱川あらし) <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の学校と合同練習 学校茶道(中高生) 吹奏楽のコンクール 	<p>【お祭り】</p> <ul style="list-style-type: none"> もみじ祭り(お茶会) <p>【催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ダンス、美術、音楽 伝統芸能(豊年踊り等) 俳句大会 親と子のコンサート 大洲市民音楽祭 音楽ライブ配信 文化祭(お茶会) 屋外のワークショップ、隠れ家づくり 学生向けの楽器クリニック、楽器指導 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校音楽祭 美術展・華道展 各学校の文化祭 各学校の交流を促すイベント 近隣中学校の文化祭(動画配信) 	<p>【催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> クリスマスイベント お子さんや様々な人が楽しめるイベント 成人式 少年少女合唱団クリスマスコンサート プロの演奏を鑑賞したい ピアノの発表会 お正月 能楽 <p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽のコンクール 	<p>【催事】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歌手を呼ぶ鑑賞イベント 立地を活かした大きな大会 オーケストラ公演 多世代交流イベント 屋外イベント 書道、絵画等展示 屋外イベント バレエ 日本舞踊 学生参加のミュージカル ピアノ発表会 各種コンサート スポーツ選手の講演会 庭園にアート作品 俳句大会 など <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 腰掛けられる自由なスペースで集う 体操など軽運動 気軽に遊べる 周辺施設との連携 地元のものが食べられるレストラン Wi-Fi環境、ネット環境での多目的利用

令和3年2月に実施した市民ワークショップ(基本構想編第1回)では、「新しい文化施設でやってみたいことを考えよう！」をテーマにグループワークを行いました。季節ごとの問いであったためお祭りに関するアイデアが多く、また中高生からは学生ならではのご意見もたくさん頂くことができました。特に多世代で交流できるようなイベントや、大洲の魅力を活かしたイベントのアイデアが多く見られました。

これまでの検討の振り返り（第2回建設検討委員会より）

新しい施設の年間計画を作ってみよう！

	春（3月～5月）	夏（6月～8月）	秋（9月～11月）	冬（12月～2月）	通 年
メインホール （630席）	<ul style="list-style-type: none"> ・おかあさんといっしょファミリーコンサート ・オカリナ発表会 ・歌謡コンサート ・定期演奏会（高校生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・吉本新喜劇 ・親と子のコンサート ・吹奏楽フェスタ（中高生） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本物の芸術に触れようコンサート ・市民音楽祭（洋楽&邦楽） ・コスプレイベント ・和太鼓、お琴、三味線、ウクレレなどのコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・着物ファッションショー ・吹奏楽フェスタ（中高生） ・クリスマスコンサート ・第九コンサート ・親と子のコンサート 	<ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ大会 ・機動的なミニコンサート ・本物に触れるコンサート（吹奏楽、ミュージカル等）
サブホール （130席程度）	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ発表会 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展 ・パッチワーク展 ・プロの公開レッスン 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラシックギターコンサート ・伝統芸能体験会 ・書道展 ・よさこい演舞（雨天時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・映画鑑賞 ・神楽体験会 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツのライブビューイング ・寄席 ・中高生美術部員の作品展 ・定期的な映画上映
多目的室 （30人）	<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会等の総会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブレイクダンス 		<ul style="list-style-type: none"> ・テーブル茶道 	<ul style="list-style-type: none"> ・人形劇、影絵 ・絵本読み聞かせ会 ・リトミック教室 ・ベビーマッサージ教室 ・各種ワークショップ →年末に作品展 ・子ども文化教室（無料で生け花、茶道、将棋）
練習室・スタジオ （15人）・（6人）	<ul style="list-style-type: none"> ・よさこいダンス練習 			<ul style="list-style-type: none"> ・玉すだれ、三味線講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・バンド、ピアノ練習
交流エリア ・おおず回廊 ・カフェスペース ・シアタースクエア		<ul style="list-style-type: none"> ・市民みんなが集えるサマーフェスタ 		<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠足等の雨天時利用 ・長浜、脇川、河辺の物産展 ・コンサート→フリーで利用
屋外スペース		<ul style="list-style-type: none"> ・移動水族館 ・盆おどり 	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場でピクニック 	<ul style="list-style-type: none"> ・キラキライベント（イルミネーション） 	<ul style="list-style-type: none"> ・旬の食べ物フェスタ ・親と子のワークショップ

令和5年10月に開催した第2回建設検討委員会では、「年間計画を作ってみよう！」のグループワークを行いました。本物に触れられるコンサートのほか、市民による発表会や作品展示、練習会や講座、施設各所を使ったフェスティバルなど幅広い意見が出され、特に市民が活躍できたり、主体的に参加できるようなイベントのアイデアが多く見られました。

自主事業方針（案）

方針① 多様な機会を創出し、文化芸術との出会いの場となる

- ・ 市民と文化芸術との接点を数多く設け、鑑賞や発表だけでなく、体験、創造、交流、支援など様々な楽しみ方を提案します。
- ・ 特定のジャンルに偏ることなく、あらゆる文化芸術に触れられる環境をつくります。

方針② 文化とまちづくりの拠点として地域や人を繋ぎ、交流と拡大を促す

- ・ 市域全体の中核を担う施設として、各地域や活動団体等の交流の機会を生み出し、まちの活性化に寄与します。
- ・ あらゆる世代が参加しやすい開かれた事業とすることで、文化芸術のすそ野を広げ、活動の担い手の高齢化や参加人数の減少といった課題の解決を図ります。

方針③ 大洲市の文化資源を守り伝え、創造へ繋げる

- ・ 受け継がれ育まれてきた地域の文化資源を保存・活用し、「伊予の小京都」としての魅力を市内外へ発信できる事業とします。
- ・ 地域資源の伝承により、子どもたちがふるさとへの誇りや愛着を持ち、次代の新たな創造活動へ繋がっていくことを目指します。

方針④ 施設全体を活用し、文化芸術の新たな可能性を提示し続ける

- ・ 本施設の特徴である共用部や屋外空間なども積極的に活用しながら、施設の幅広い使い方を示し、市民の文化活動の更なる発展を支援します。
- ・ 市民ニーズや社会情勢を的確に捉え、その変化に応じた事業展開とすることで、市民の興味関心を喚起し続ける、常に新しい施設を目指します。

自主事業のイメージ

方針① 出会う



鬼っジョブ 北上おしごとパーク

子どもたちが様々な職業体験ができる、北上版の「キッズニア」。
舞台照明や舞台音響の体験ができるのはホール施設ならではの。



おでかけアリオス

音楽やダンスなどのアーティストが市内の小中学校を訪れ、コンサートやワークショップを行うアウトリーチ事業。

方針② 交流する



切り裂かれたキャンバス～「マネとマネ夫人像」をめぐる

市立美術館とコラボレーションし、美術館で上演された演劇公演。
ある収蔵作品をモチーフにしたオリジナル劇を制作した。



おさんぽ♪ダンス!

観客がダンサーや演奏家と一緒にまち歩きをしながらパフォーマンスを楽しむ移動型公演。見慣れた街や自然の風景が舞台に。

自主事業のイメージ

方針③ 生み出す



縄文アートプロジェクト

茅野市にゆかりのある縄文文化をモチーフとし、館内での市民の作品展示や、地域と連携したアート展示などを行った。



住民劇団によるオリジナルミュージカル

施設を拠点に活動する住民劇団「演劇ファミリーMyu(みゆう)」が住民の手で創り上げるミュージカル公演。

方針④ 発展させる



さいき大道芸フェスタ

屋外の芝生広場をメインステージに、館内や周辺の商店街までを活用。プロのパフォーマンスや子どもたちのステージを実施。



よりあい劇場

市民から自主事業の企画アイデアを募集する取り組み。応募者がプレゼンを行い、市民のニーズを反映した事業展開を実現している。

自主事業のポイント整理

出会う

- ◆ 鑑賞(観る・聴く)だけでなく、参加や体験などいろいろな楽しみ方を提案する
- ◆ 特定のジャンルに偏らず、様々な分野の事業を行う

交流する

- ◆ 文化芸術の拠点であると同時に、まちづくりの拠点としての事業を行う
- ◆ 多くの人々が交流し、輪が広がっていくことを目指す

生み出す

- ◆ 大洲の伝統文化を活かしながら、新しいものを皆で創造する事業を行う
- ◆ 積極的に情報発信し、市内外へ大洲の魅力をアピールする

発展させる

- ◆ 施設全体を余すところなく活用し、使い方の可能性を広げるような事業を行う
- ◆ 市民のニーズを捉え、常に新しいことに取り組む

■ご意見を頂きたいこと

ここまでの方針案やポイントを踏まえ、他に取り組むべき事業があれば、具体的な事業イメージとともにご意見ください。

貸館事業について

これまでの検討の振り返り（基本構想・基本計画より）

基本構想

- 施設を気軽に利用でき、かつ、常に人が集い、にぎわう環境づくりを実現するため、**市民のニーズや利便性**を考慮した利用規則等を検討します。

基本計画

- 市民の文化芸術活動としての施設利用や各種団体等が借り手として主催する公演等は「貸館事業」として、市民が良質な舞台芸術を鑑賞・体験する機会と捉えます。
- 大洲市民文化会館が「幅広い創造活動の拠点となる」ために、ただ施設を貸し出すだけでなく、市民の文化芸術活動に対して、**制作や舞台技術等のバックアップなどのサポートを充実させ**、事業を通して**文化芸術活動のレベルアップ**を推進します。

【利用規則の検討方針】

項目	検討方針
休館日	市民等が施設を利用しやすい休館日の設定
開館時間	部活動や仕事帰りの利用など、利便性に配慮した開館時間の設定
利用時間区分	練習室等ではできるだけ短い単位での区分とするなど、諸室の特性に沿った利用時間の設定
利用料金	近隣他施設における料金や受益者負担の考え方を踏まえた適切な料金設定
予約手続き	予約時の利用者のニーズや手続きの利便性などを考慮し、ホールや諸室の特性に応じた設定

これまでの検討の振り返り（市民ワークショップより）

新しい文化施設の管理運営について考えよう！

開館日・時間	利用料金	貸出区分・予約方法
<p>【休館日】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月曜休館が良い ●休館日は現状のままで良い ●休館日は今のままでも良い ★基本、年中無休が良い <p>【開館時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●9時～22時で十分 ●閉館時間は今まで通り ★少し閉館時間が遅い方がよい ★事前準備のため、30分前の開館が良い ★原則9～22時で、前後30分延長 ★朝8時から開館など、利用者の要望に柔軟に応えられるようにしてほしい(吟詠大会の準備時間を確保) ★指定管理になれば柔軟な開館時間、休館日が設定できるのでは <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★運営スタッフはシフト制 ◆学生は年に2～3回しか使ったことがない ◆音楽会等のみ利用 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[凡例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●現状のままで良い ★新たなアイデア ◆その他 </div>	<p>【基本料金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●土日祝の加算はやむを得ない ●今の料金設定を維持 ●市外の人を使いにくくなってしまったため、市内外で同一料金が良く、多くの人に使ってほしい ★全ての日で一律料金 ◆利用料は無料が良いが、設備を考えると利用料が多少高くてもやむを得ない <p>【割引・割増】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★市民割を設定し、市民が使いやすい料金に ★営利目的、学生利用、ボランティア活動等で料金に違いがあると良い ★市民割引が欲しい ★学生割引(特にコンクール前は安く) ★リハ・練習料金制度 ★コンサート・プロの興行(有料)と市民の発表会(無料)で料金体系を変えてよい <p>【冷暖房・駐車場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●冷暖房を使わない時期もあるため、基本利用料金と冷暖房費は別の方が良い ★冷暖房費は利用料金に含める ★冷暖房費用を施設利用料金に含めた方がよい ◆駐車場の料金が総合福祉センターは無料なので、慎重に考える必要がある 	<p>【貸出区分】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★3区分制でなく時間で区切る ★区分の他に時間制の予約もできると良い ★延長利用したい時にも時間制の予約ができると便利 ★(狭い部屋は特に)複数グループが重なった時のために利用時間区分は必要、ただ柔軟性も必要 ★狭い部屋は時間貸しが良い ★メインホール含め、時間制にする <p>【予約方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今まで通りの窓口予約も両立 ●電話予約できる現状が良い ★申込開始は長めに設定が良い ★1か月前を予約締切にし、直前受付はしなくてよい ★予約状況もネットで分かるように ★HP上で空き状況を確認でき、仮予約までできると良い ★練習利用はインターネット予約 ★ネット、電話予約 <p>【支払い方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ネット予約の場合はカード支払いが良い ★いろんな支払い方法が使えたらベスト ★クレジット支払い

令和3年9月に実施した市民ワークショップ(基本計画編第2回)では、「管理運営について考えよう」をテーマに、利用規則の各項目について意見を出し合いました。インターネットを使った予約など利便性向上に対する意見が多く出されたほか、料金については市内外で同一とする／市民割を設定する、のように相反する意見も多数見られ、様々な視点からのアイデアを伺うことができました。

貸館事業方針（案）

方針① 利便性を向上させ、誰にとっても使いやすい施設とする

- 世代や市内・市外の区分等に関わらず、誰にとっても分かりやすく使いやすい施設とします。
- 現市民会館と比較してより利便性が高まるよう、先進事例や新たなアイデアを踏まえた規則とします。

方針② 平等な利用機会の提供と、公平なルール作りを両立する

- 限られた利用者だけでなく大洲市民全体のための施設として、誰もが利用機会を得られる平等性を持った施設とします。
- 同時に、配慮すべき個別の事由については事前によく検討し、公平性にも十分に配慮します。

方針③ 市民の文化芸術活動をサポートし、レベルアップを促す

- 公演制作や舞台技術などの専門分野について、館のスタッフが積極的に助言・協力するなど、市民の文化芸術活動に対するバックアップ体制を構築します。
- 新たな市民文化会館を利用することで、市民の活動がレベルアップし、より充実していくような好循環を目指します。

貸館事業のポイント整理

利便性向上

- ◆ 誰にとっても分かりやすく、使いやすい施設にする
- ◆ 現市民会館と比較して、より利用者の利便性が高まるよう工夫する

平等・公平

- ◆ 大洲市民全体のための施設として、平等に利用機会を得られるようにする
- ◆ 配慮すべき個別の事由がある場合は公平性を考慮する

市民サポート

- ◆ 公演制作や舞台技術などの専門分野について、館のスタッフが積極的にサポートする体制をつくる
- ◆ 施設利用によって市民の活動がより充実することを目指す

■ご意見を頂きたいこと

上記のポイントを踏まえ、他に留意すべき点があれば、具体的なルールアイデアとともにご意見ください。

プレイベントについて

プレイベントとは？

施設が完成するまでの間に、施設の理念や事業方針を早い時期から発信し、開館への期待を高めていくために行う自主事業。

→開館前で施設がまだ存在しないため、現市民会館や建設予定地などいろいろな場所が会場となる。

プレイベントの主な目的

- 早い時期から情報を発信し、**新施設が完成することを広く伝える。**
- 新施設の設置目的や事業の方針・内容を様々な方法で伝え、**施設への関心や理解を高める。**
- 現施設の閉館から新施設の開館後まで**連続性のある取り組み**とすることで、施設の役割を適切に引き継ぐ。
- 開館に先立ち、事業の実施や施設の維持管理を行う**スタッフの習熟**を行い、**ノウハウの蓄積**や**開館に向けた課題を整理**し解決策を得る。

プレイベント方針（案）

方針① 積極的な情報発信により新施設の認知度や機運を高める

- プレイベントの企画、制作、実施といった全ての段階を情報発信の機会と捉え、本施設の新たな取り組みについて周知します。
- 開館後の施設に行ってみたくなる、開館を楽しみにしてもらえるイベントを実施します。

方針② まちの魅力を再発見する機会とする

- 屋外や街なかを会場とすることで、地域の歴史文化や豊かな自然など、まちの魅力を改めて体感できる機会を作ります。

方針③ 市民と共に活動する機会を設け、 開館後の市民参加の試行期間とする

- プレイベントを、市民との連携方法について試行する機会として活用します。
- イベント実施を通して市民との新たな繋がりを作り、市民ニーズを把握します。

イベントのイメージ



さいたま市民会館おおみや RaiBoc Hall (埼玉県)
出典: イベント公式X

ありがとう市民会館おおみや

旧施設の閉館にあたり市民有志が実行委員会を立ち上げて実施したお別れイベント。市民による演奏会のほか、大宮をテーマとした演劇や、お笑いライブ等を上演した。



先どり！新市民会館 あおぞらステージ

まだ更地の建設予定地を使ったイベント。舞台と客席の実際の大きさを参加者が手を繋いで体感したり、市民によるダンスや吹奏楽の演奏などが披露された。



長野市芸術館 (長野県)



やまぎん県民ホール (山形県)

仮囲いアート

建設現場の仮囲いにアーティストによる下絵をプリントし、地域の子もたちがペンキで絵を描いてパブリックアートを完成させたイベント。



苫小牧市民文化ホール (北海道)

建設現場見学会

ホールの建設現場を見学できるツアーを開催。工事について説明を聞きながら各所を見学し、AR・VRなど最新技術を使ったバーチャル体験も実施した。



あきた芸術劇場 愛称募集

秋田県と秋田市が連携して整備している「あきた芸術劇場」は令和4年に開館予定です。この施設が広く県民・市民に親しまれ、愛着をもってもらえるよう、愛称を募集します。皆さまのご応募をお待ちしております。

コンセプト

地域の文化創造力向上と賑わい創出を図る
本県文化の中枢拠点

施設の特徴

【役割】文化の裾野を広げ、人が集う「場」を創出
【立地】緑豊かな千秋公園に隣接し、歴史的にも県都の文化の殿堂が立地
【環境】お堀や土壁、保存櫓を残すなどして、環境と調和

あきた芸術劇場 ミルハス (秋田県)

出典: あきた芸術劇場公式HP

愛称募集

施設の愛称を公募により決定。愛称が採用された応募者には最優秀賞として記念品や開館記念事業のフリーパス券などが贈られた。

プレイベントのポイント整理

知ってもらう

- ◆ 本施設の取り組みを発信し、多くの市民に知ってもらう機会とする
- ◆ 開館を楽しみにしてもらえるイベントを実施する

再発見する

- ◆ 施設の完成前のため、屋外や街なかを会場として積極的に活用する
- ◆ まちの魅力を改めて体感できる機会とする

市民と一緒に

- ◆ 多くの市民が関心を持ち、参加できるイベントとして、市民と施設との新たな繋がりを作る
- ◆ 開館後の市民参加のあり方を考える試行期間とする

■ご意見を頂きたいこと

ここまでの方針案やポイント、事業例を踏まえ、他に取り組むべきプレイベントがあれば、具体的なイメージとともにご意見ください。